令和６年度山城地方視覚障害者
社会教育指導者研修会　報告

京都府山城教育局
社会教育担当

－次第－
○開会行事
○研修Ⅰ・講演
「今、そこにある災害　～知ることからはじめる防災～」
特定非営利活動法人　日本防災士会　京都府支部　支部長　田中　英樹　様
○研修Ⅱ・体験研修
「命をつなぐ避難所体験　～災害時の心構え～」
特定非営利活動法人　日本防災士会　京都府支部　支部長　田中　英樹　様
植田　利江子　様
○閉会行事

会場　城陽市東部コミュニティセンター

令和６年 11 月 15 日(金)に「令和６年度山城地方視覚障害者社会教育指導者研修会」を、城陽市東部コミュニティセンターにて開催しました。山城地方の視覚障害者団体のリーダー及びボランティア関係団体のリーダー、市町（広域連合）教育委員会の社会教育関係者、各市町村福祉関係者という幅広い立場の方々（約 70 名）に御参加いただきました。

今年度は講演のテーマを「防災」とし、それぞれの立場から自分にできることは何かを考えるよい機会とすることができました。

開会行事

開会に先立ち、山城教育局坂田局長から、自然災害の際に、**「誰も取り残されないようにする」**ために、**それぞれの立場から「自助」「共助」「公助」について考えていただく機会になれば**と挨拶を行いました。

坂田局長挨拶の様子

研修Ⅰ・講演

「今、そこにある災害
～知ることからはじめる防災～」

田中英樹　様による講演の様子

近い将来、発生することが想定される**南海トラフ地震に対する、各家庭でできる対策**についてから講演が始まり、**「まずはブレーカーを落とす」「机の下にもぐらず外に出る」「ガラスにテープを貼らない」**等、専門的な立場から最新の防災対策を教えていただきました。

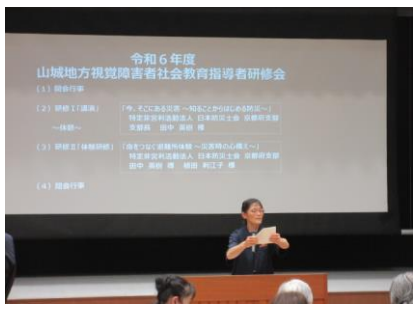
また、災害発生時に起こる犯罪などについてもお話があり、それらに対しても対策を講じておく必要があるとのことで、参加者の方からは、**「日頃から備えておく大切さをあらためて学ぶことができた」**との感想をいただきました。

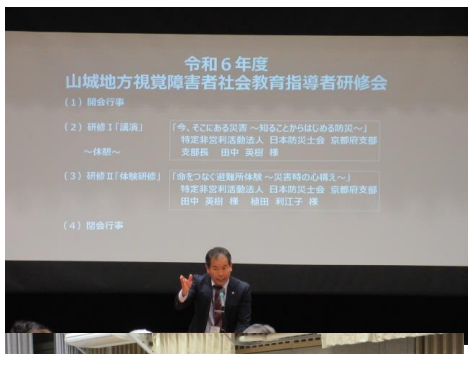
簡単にできる防災対策について熱心に御講演いただきありがとうございました。

研修Ⅱ・体験研修

「命をつなぐ避難所体験　～災害時の心構え～」

A4 紙を使った折り紙食器づくり、物をしっかり固定するロープの結び方、段ボールベッド・トイレの体験を行いました。ベッドやトイレの体験では、実際にベッドに寝転んだり座ったりすることで、使い方や利便性を体感していただきました。参加者の方からは、**「身近に見たことがなかったので体験できてよかった」「自治会にも要望したい」**との感想をいただきました。



閉会行事

杉田総括社会教育主事が講演や体験研修をもとにし、「**防災に対して正しい知識を身につけることで、共にウェルビーイングな状態を目指しましょう**」という言葉で研修会を終えました。